

# 馬路村地域福祉計画評価シート（令和5年度）

《基本理念》 子どもから高齢者まで、健やかな暮らしを生涯支える村づくり

## 基本目標 1【地域を担う人づくり】 P22

基本施策	担当課・関係課	取り組むこと	取組内容 (何を、どのように行ったか。その成果は (数値等の明示が可能なものについては具体的に))	令和6年度に取り組む内容	自己評価（3段階評価） A・・・十分に組み立てている B・・・ほぼ組み立てているが改善すべき点がある C・・・取組が進んでおらず、取組を強化する必要がある、または見直しを検討する	委員評価（3段階評価） A・・・十分に組み立てている B・・・ほぼ組み立てているが改善すべき点がある C・・・取組が進んでおらず、取組を強化する必要がある、または見直しを検討する
① 地域福祉の意識醸成	健康福祉課	<b>1. 地域福祉に関する情報発信や周知活動</b>  ホームページや村内広報、SNS等を積極的に活用し、地域福祉に関する情報発信・周知に努めます。	【福祉】 地域福祉計画の取組状況と評価については、行政HPを活用し公開した。 個別のイベントや講演会等については、村内放送や広報で案内するとともに、文化祭等集客が見込まれるイベントとタイアップした取組を行うなど、積極的な広報・周知に努めることができた。	【福祉】 地域福祉計画の取組状況と評価については、行政HPを活用し引き続き公開する。 また、役場が予定している健康増進事業や各種助成事業等を冊子媒体で作成・配布し、全村民が活用できるよう努める。	A	A  ・直接の声掛けや説明があると事業の目的などがわかりやすくてよかった。 ・冊子媒体での告知は毎年の更新となると混乱する可能性もある。混乱が起こらないよう取組を進めてほしい。
	健康福祉課 教育委員会 総務課	<b>2. 福祉教育・人権教育の推進</b>  福祉意識・人権意識の醸成を図るため、地域住民の学ぶ機会として福祉や人権をテーマとした講演会や体験学習、イベント等を開催します。また、学校教育の中で福祉に関する授業を行うなど、次代を担う子供たちへの意識づくりにも取り組みます。	【福祉】 新採職員向けに手話研修を実施したほか、将来受ける医療や介護について、家族との話し合いの機会を持つことの意義や重要性について考えるきっかけづくりとして、エンディングノートセミナー、文化祭（ふれあい祭り）での入棺体験を行った。 【総務】 馬路小学校にて人権の花運動を実施し児童29名、馬路村人権擁護委員2名の参加が得られた。また、今年安芸人権擁護委員協議会主催の「人権を大切にすることを風船の便りで結ぶ集い」が馬路小中学校のグラウンドにて行われた。 【教委】 社会福祉協議会の協力の下、福祉授業を取り入れ、要配慮者等の理解を深めた。また、道徳参観日の実施や、人権の標語づくり、人権週間には、法務局イベントも開催できた。一般には、人権講演会を開催し、全ての人の人権について、考える機会を設けた。	【福祉】 新採職員向けの研修を引き続き実施するほか、敬老会や文化祭等のイベントに合わせ住民向けの啓発事業の実施を検討していく。 【総務・教委】 引き続き、人権の花運動や福祉授業、人権後援会を実施し家族や友人を思いやる心を育む取組を行っていく。	A	A  ・特段の意見なし



# 馬路村地域福祉計画評価シート（令和5年度）

## 基本目標2【誰もがつながる地域の輪（ネットワーク）づくり】

基本施策	担当課・関係課	取り組むこと	取組内容 (何を、どのように行ったか。その成果は (数値等の明示が可能なものについては具体的 に))	令和6年度に取り組む内容	自己評価（3段階評価） A・・・十分に組み組んでいる B・・・ほぼ組み組んでいるが改善すべき点がある C・・・取組が進んでおらず、取組を強化する必要が ある、または見直しを検討する	委員評価（3段階評価） A・・・十分に組み組んでいる B・・・ほぼ組み組んでいるが改善すべき点がある C・・・取組が進んでおらず、取組を強化する必要が ある、または見直しを検討する
① 交流機会の推進	全課 教育委員会	<b>1. 顔の見える関係づくり</b>  各地区の地区長や民生委員・児童委員と協力して、地域の活動を支えます。また、窓口や訪問現場での対応をする中でも地域住民との対話を重視し、お互いが信頼できる関係づくりにも取り組みます。	【福祉】 今年度も職員による敬老（お祝い）弁当の配布を引き続き行い、生活状況の把握につなげた。また、地域行事へ積極的に参加することにより地域住民との関係づくりに努めた。 【全課】 業務中の訪問、地域行事やあったかふれあいセンター事業・会議等への参加の際に得た情報を担当課や関係機関と共有し顔の見える・支え合える関係づくりに努めている。 【教委】 ・各種団体への支援、連携に努めた。 ・講演会等では、地区長、民協への周知を図り、活動のきっかけを作った。	【全課】 業務中の訪問時の声掛けや地域行事への参加を通じて、顔の見える関係づくりに継続して取り組む。 特に移住者など住民同士と、行政や関係機関とのつながりも強化・拡大していく。	<p style="text-align: center;">A</p> 地域行事や訪問現場での対応等の機会を活かした関係づくりに取り組んでいる。行事への積極的な参加や現場対応時の対話の取組を引き続き進める。	<p style="text-align: center;">A</p> ・特段の意見なし
	地域振興課 健康福祉課	<b>2. 世代間交流の促進</b>  村内で展開される各種行事やイベント、座談会など、村に住む様々な人をつなげる交流の機会をつくり出します。地区ごとの世代間交流を積極的に進め、緊密な地域の輪を創出するとともに村内全域に展開します。	【福祉】 住民主体の地域福祉活動の実施に向けた座談会及び交流会を実施し、世代間交流の場につなげることができた。また、地区の支援だけでなく既存団体を支援するにより、新たな関係づくりにも取り組むことができた。さらに、現役世代の地域参加の推進に向け自己紹介シートの作成を職場を通して依頼しており、次年度以降に向けた取組も進めている。 【振興課】 R5年度からUコネクに移住定住関係の交流事業を委託しており、馬路村集会所センターうまなびや交流センターを活用して、ワーキングホリデー参加者との交流会（若者及び農家）やジム体験&移住交流会を3回実施し、合計67名が参加した。	【福祉】 県の地域支援企画員にも協力を依頼し、東川地区をターゲットとした地域活動を展開する予定。地域資源に限られるため、青年団等の他団体との連携も視野に入れながら世代間交流が実現できるイベント等の実施を進める。また、現在進めている自己紹介シートを活用し、現役世代（特に若者）が主体的に携わるイベント実施を目指す。 【振興課】 テーマを明確にした小規模の交流会を数多く実施することで、交流の促進を図る。	<p style="text-align: center;">A</p> 若者の持つ地域資源（特技やスキル）を活かした世代間交流を行うとともにUコネクトを中心とした積極的な活動を継続する。	<p style="text-align: center;">A</p> ・特段の意見なし

馬路村地域福祉計画評価シート（令和5年度）

基本施策	担当課・関係課	取り組むこと	取組内容 (何を、どのように行ったか。その成果は (数値等の明示が可能なものについては具体的 に))	令和6年度に取り組む内容	自己評価（3段階評価） A・・・十分に取組んでいる B・・・ほぼ取組んでいるが改善すべき点がある C・・・取組が進んでおらず、取組を強化する必要が ある、または見直しを検討する	委員評価（3段階評価） A・・・十分に取組んでいる B・・・ほぼ取組んでいるが改善すべき点がある C・・・取組が進んでおらず、取組を強化する必要が ある、または見直しを検討する
② 交流拠点の確保	健康福祉課	<b>1. あったかふれあいセンター事業の充実</b>  馬路村社会福祉協議会と連携し、既存のあったかふれあいセンター事業を充実させ、誰もが最期までいきいきと自分らしく住み続けられる地域づくりをめざします。また、集いの場が介護予防の場になっていることなど、本事業の担う役割を全世代に周知するとともに、本事業への理解の促進に努めます。	【福祉】 交流センターからうまなびへと拠点を移し、参加者の利便性向上を図った。また、新たな公用車を導入し、生活支援のニーズ増に対応できる体制を構築した他、特定地域づくり協同組合の利用により慢性的な人材不足の解消にも積極的に取り組んでいる。併せて、後期高齢、国保の各担当とも連携し、健康づくり事業の場としても活用した。	【福祉】 高齢者の訪問・生活実態把握を引き続き行い、利用に繋げていく。新たな取組としては、高齢者運動機能等向上事業を活用し、理学療法士による百歳体操へのアプローチを実施予定。また、利用者の様子について月1回実施する支えあい会での情報共有を行い適正なサービス利用の検討を進める。	A  利便性の向上・健康づくり事業の充実が進んだ。また、新たな車両の導入や地域づくり協同組合の利用による人員確保等、職員の負担軽減につながる取組も併せて行うことができた。	A  ・特定地域づくり協同組合から入ってきた職員はしっかり活躍し定着してくれている。TV取材が入るなど注目もされており、福祉事業の充実にも期待している。事業内容には少しマンネリ化している心配があり、テコ入れも考えているところ。  ・中芸他地域では地域によっては特に男性の参加が少ない。農業者だと特に顕著だが、身体が弱って来てから集いの場への参加となるとなじみの人が少なく行きづらいつと感じることも考えられる。早めに地域参加ができるといいのかなと思う。
	地域振興課 教育委員会	<b>2. 既存施設の活用</b>  馬路村集会センターうまなびや村民グラウンド等の村有施設を活用し、特に若者を中心とした交流を積極的に進めます。今まで関係のなかった者同士が交流することで、新たな事業の創出や展開に発展させます。	【振興】 柚子収穫やキャンプ場のワーキングホリデー参加者16名が空き家住宅に短期滞在、滞在期間中には馬路村集会センターうまなびで村内の若者や農家と交流会を行った。 【教委】 村民グラウンドや体育館を活用しスポーツイベント（職域ソフト・スカッシュ大会）を実施、若者や各職場等の交流に努めた。	【振興】 セミナーや趣味などあるテーマを共通項とした交流会を行い、テーマ型のコミュニティの場としたい。参加者からのアンケートなどから参加したい交流会を計画する。 【教委】 生涯学習を通じて、若い世代の参加できる事業を開催する。	A  既存施設を活用した若者同士のコミュニティ形成・交流機会の確保の取組を実施することができた。今後については、気軽に利用できるということを周知し、テーマ型のコミュニティの場として住民自らが施設を進んで借り上げ利用することを目指していきたい。	A  ・交流センターの簡易ジム整備などもあり、気軽なつながりができる環境が整ってきている。
③ 地域ネットワーク行政・関係づくり	全課 教育委員会	<b>1. 地域住民とのネットワークづくり</b>  日常のあいさつ、声かけなど「あたりまえ」のことを行政職員が習慣化することから始め、地域活動やイベント等への積極的な参加を通して地域住民との信頼関係を構築するとともに、地域と行政が一体となった支えあいの形をめざします。	【全】 全職員であいさつ、声かけの実施に取り組んでいるほか、地域活動への参加にも取り組んでいる。あいさつや業務中の訪問等の際に気になる様子があった際の情報共有も行っている。	【全】 地域住民同士や各団体との関わり合いからつながりがうまれ、必要とする支援が受けられるよう取組を継続する。	A  地域行事や訪問現場での対応等の機会を活かした関係づくりに取り組んでいる。行事への積極的な参加や現場対応時の対話の取組を進める。	A  ・特段の意見なし

馬路村地域福祉計画評価シート（令和5年度）

基本目標3【誰もが安心できる支援の実施】 P26

基本施策	担当課・関係課	取り組むこと	取組内容 (何を、どのように行ったか。その成果は (数値等の明示が可能なものについては具体的 に))	令和6年度に取り組む内容	自己評価（3段階評価） A・・・十分に取組んでいる B・・・ほぼ取組んでいるが改善すべき点がある C・・・取組が進んでおらず、取組を強化する必要が ある、または見直しを検討する	委員評価（3段階評価） A・・・十分に取組んでいる B・・・ほぼ取組んでいるが改善すべき点がある C・・・取組が進んでおらず、取組を強化する必要が ある、または見直しを検討する
① 健やかな暮らしを見守る支援の充実	健康福祉課	<b>1. 高齢者への支援</b> 基本計画：中芸広域連合高齢者福祉計画・介護保険事業計画  いきいき百歳体操等の介護予防事業を通じて、高齢者が社会参加しやすい環境づくりに取り組めます。また、高齢者を地域全体で支え、最期を迎えるまで在宅で生活してもらえよう中芸広域連合や馬路村社会福祉協議会等関係機関との連携強化に努めます。	【福祉】 終活セミナーを実施し、高齢者と家族が介護や医療について話し合うきっかけづくりを行ったほか、あったかふれあいセンターを主とした介護予防事業を継続的に実施した。また、看護師による訪問事業を強化し生活実態の把握及び支援に努めた。新たな事業としては、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業を開始し、今年度は特に低栄養者へアプローチを行った。	【福祉】 デジタルデバイドの解消に向け、高齢者のスマートフォン使用に向けた取組を新たに予定している。内容は、端末代補助、スマホ教室の実施、サポーター養成の3種類。また、田野病院と連携し、高齢者の運動機能等の向上に向けた訪問及び生活・運動指導事業を昨年引き続き実施。一体的実施事業は、重症化予防等をメインテーマに展開予定。	A  高齢者本人への支援や把握を実施できており、現在の取組を継続していく。運動指導や、社会参加に向けたデジタルデバイス解消等、身体的・社会的に健康な生活づくりに向けた取組を行う。	A  ・住み慣れた地域で最期まで過ごせる地域づくりに向けて、社協中心に手厚く動いていると思う。中芸全体の人手不足の中においてもしっかり取組んでいると感じる。 ・看護師の配置により、社協としても連携がとりやすく動きやすくなっている。 ・デジタルデバイス解消について、農家の負担軽減なども期待でき注目している。
	健康福祉課	<b>2. 障害者への支援</b> 基本計画：中芸広域連合高齢者福祉計画・介護保険事業計画  障害の有無にかかわらずお互いの個性と人格を尊重しあいながら、安心して生活できる環境の整備を進めます。また、農福連携など新たな就労の形を模索するとともに、障害者に寄り添った伴走型の就労支援にも取り組んでいきます。	【福祉】 ・自立支援医療(更生医療)等の制度利用を促している。 ・職員向けに障害の特性の理解に向けた手話研修を実施した。	【福祉】 ・引き続き自立支援医療(更生医療)等の制度利用を促す。農福連携については中芸広域連合を中心に取り組んでおり、その取組を参考に研究を進める。また、農福連携だけにこだわらず、障害者の雇用の場についても検討を進める。	B  新規雇用の場の創出に向け、近隣市町村からの情報収集等、研究を進めるほか、障害の理解につながる取組を継続する。	B  ・レベルに合わせた個別の作業内容を検討したり、見守りの確保等、新たな枠組みを作ったりすることは不可能ではないが、内職等安定して職を用意することは難しい。広域で慎重に情報共有・検討が必要。
	健康福祉課 教育委員会	<b>3. 子育て世代への支援</b> 基本計画：馬路村子ども・子育て支援事業計画  村の宝であり次代を担う子どものことを第一に考え、男女とも育児と仕事の両立を地域全体で支えます。また、子どもを持ちたいと考える夫婦や子育てを行う世帯のニーズ把握と気軽に相談できる体制を整え、夫婦が子育てをしたいと思う環境づくりにも努めます。	【福祉】 昨年度リニューアルした子育て世代包括支援センターは、平日・休日に関わらず多くの子育て世帯が利用しており、集いの場としても活躍している。また、新たに乳児を養育する家庭へのおむつ等プレゼント事業を開始し、保健師との面談と併せて相談支援につなげることができた。一時休止していた「子育てひろば」も再開しており、充実した支援が展開できている。 【教委】 ブックスタートの実施や、放課後子ども教室の充実に取り組み、学校、保健師と情報共有しながら、安心安全な、子育て環境に努めた。	【福祉】 支援を継続する。また、保護者一人ひとりの課題や不安を把握し、伴走型相談支援を実施することにより、妊娠期～出産期～子育て期を切れ目なく支援する環境づくりに取り組む。 【教委】 教育相談の継続や、小学校への接続の重視、小中一貫校制度を活かしながら、保護者とも情報共有し連携を図る。	A  関係機関が連携し、安心して出産・育児ができる環境の構築に努めることができた。特に子育て世帯包括支援センターは多くの子育て世帯に認知されており、保健師の介入とともに大きな成果となっている。また、次年度以降は新たな子育て施策も検討しており、より充実した支援となるよう取り組んでいく。	A  ・つどマル（子育て世帯包括支援センター）は周知・利用が進みしっかりと村ならではの+αの取組となっていると感じる。 ・就学前の子どもと関わる中で、医療⇄教委、養護教諭間の連携を強化したいと感じている。

馬路村地域福祉計画評価シート（令和5年度）

基本施策	担当課・関係課	取り組むこと	取組内容 (何を、どのように行ったか。その成果は (数値等の明示が可能なものについては具体的に))	令和6年度に取り組む内容	自己評価（3段階評価） A・・・十分に組み立てている B・・・ほぼ組み立てているが改善すべき点がある C・・・取組が進んでおらず、取組を強化する必要がある、または見直しを検討する	委員評価（3段階評価） A・・・十分に組み立てている B・・・ほぼ組み立てているが改善すべき点がある C・・・取組が進んでおらず、取組を強化する必要がある、または見直しを検討する
① 健やかな暮らしを見守る支援の充実	全課 教育委員会	<b>4. 就労の支援</b>  自立した生活の基盤となる就労の安定について、一人ひとりの心身の状況に応じた就労や活躍の場を確保するため、福祉分野のみならず村内の幅広い産業分野の事業所等と連携するとともに、情報の共有を図ります。	【福祉】 就労支援に向けた生活の立て直しについて、村社協、診療所のほか県・奈半利社協等とも連携し情報共有や支援の方針の検討を重ね取り組んでいる。 【魚梁瀬支所】 山村留学生の家族の生活基盤確立のため、推進委員会として就労の相談・斡旋や事業所等と連携の上、安心・安全に継続して働くことができる環境づくりに取り組んでいる。	【福祉】 一人ひとりの状況に合わせた支援の取組を継続する。 様々な特性を抱えた人がいるということを踏まえ、担当の枠を超え課全体で向き合えるよう引き続き連携していく。 【魚梁瀬支所】 僅少の山村留学生家族と、PTAの定例会や学校との関係づくりから地域とのコミュニティ強化につなげていく。	A	A  ・就労につなげたいケースがあり、対応している。現場へのつなぎ、見守り等もでき体制整備はできている。
	健康福祉課	<b>5. 権利擁護の推進</b>  「馬路村成年後見制度利用促進基本計画」に基づき、虐待を含めた支援を必要としている人の権利擁護や意思決定を社会全体で支援するため、法律・福祉・医療などの関係機関と連携して、権利擁護と成年後見制度の利用促進に向けた周知に取り組めます。 <b>(R5評価委員会において取組の具体化に向けて委員から文言追加の提案、反映)</b>	【福祉】 制度の利用相談に対し、障害・高齢・地域福祉の各担当間での情報共有を行い、必要な支援についての検討を行った。支援体制が構築できており、対象となる事例に対しても遅滞なく対応できた。	【福祉】 制度利用のニーズに対応できるよう、情報収集を行う。対応中のケースについても、状況の変化を見逃さず適切な対応を行っていく。	B	A  ・支援が必要なケースへしっかり連携して取り組んでいる。後見等が必要とまではいかないが日常生活自立支援事業による手助けが必要な方もいる。今後も連携した取組を進めていく。
	健康福祉課	<b>6. 再犯防止活動の推進</b>  「馬路村再犯防止推進計画」に基づき、犯罪や非行をした人が社会復帰後に地域社会で孤立しないために、国・地方公共団体・民間協力者が一丸となった「息の長い」支援の実現に取り組めます。	【福祉】 保護司による「社会を明るくする運動」の広報や、活動拠点である厚生保護サポートセンターの運営支援を行った。また、犯罪や非行のきっかけとなる生活困窮や孤立といった状況を防ぐため、各関係機関との相談・情報共有に努めた。	【福祉】 取組を継続する。偏見の解消に向け人権意識の涵養を引き続き行うほか、総務課や教育委員会と連携した研修、講演会を実施し、住民への啓発も行う。	B	B  ・当事者が関わるケース自体が見えづらく取組を進めるにも苦慮していると思うが、具体的な内容として保護司の役割や就労についての啓発を検討してはどうか。 ・犯罪や非行を未然に防ぐ取組ができている結果とも受け止めている。
	健康福祉課 教育委員会	<b>7. 自殺対策の推進</b>  「馬路村自殺対策計画」に基づき、誰もが自殺に追い込まれることのない馬路村の実現をめざして、年間自殺者数0人を計画の数値目標とし、関係機関と連携を図りながら、自殺対策に取り組めます。	【福祉】 自殺対策のキーマンとなるゲートキーパーの養成講座を民生委員及び職員を対象に実施し、当事者に寄り添い傾聴できる人材の育成を行った。また、日頃から高齢者や障害者、母子の支援活動を行いながら、見守り・訪問による対策も行っている。 【教委】 各村立学校において、道徳の時間等を使用して児童生徒への意識づけを行った。また、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーの配置により自殺対策に努めている。	【福祉】 関係機関と連携した見守り・訪問活動を継続する。また、必要な人を専門機関に繋ぐことができるようゲートキーパーの養成にも取組む。 【教委】 取組の継続実施	A	A  ・特段の意見なし

馬路村地域福祉計画評価シート（令和5年度）

基本施策	担当課・関係課	取り組むこと	取組内容 (何を、どのように行ったか。その成果は (数値等の明示が可能なものについては具体的に))	令和6年度に取り組む内容	自己評価（3段階評価） A・・・十分に組み立てている B・・・ほぼ組み立てているが改善すべき点がある C・・・取組が進んでおらず、取組を強化する必要がある、または見直しを検討する	委員評価（3段階評価） A・・・十分に組み立てている B・・・ほぼ組み立てているが改善すべき点がある C・・・取組が進んでおらず、取組を強化する必要がある、または見直しを検討する
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">②安心・安全の地域づくり</p>	<p style="text-align: center;">全課 教育委員会</p>	<p><b>1. 防犯や交通安全対策の推進</b></p> <p>警察等関係機関と連携し、防犯についての広報活動を充実させるとともに、地域での声かけや見守り活動を推進していきます。また、街頭指導を中心とした交通安全に対する啓発活動やガードレール、カーブミラー、街灯などの交通安全に関連する施設整備にも積極的に取り組んでいきます。</p>	<p>【総務】 交通安全期間においてのぼり旗の設置、村内の事業者・団体と協力し街頭指導を実施した。9月には村内事業者協力のもと各所のカーブミラー清掃を実施し安全な交通環境を維持した。雑木等により見通しの悪くなった区間の雑木等の伐採を行った。</p> <p>【福祉】 敬老会時に特殊詐欺被害をテーマとした演芸を企画し、防犯啓発を行った。</p> <p>【教委】 各村立学校において、定期的に交通安全教室等を実施している。また教職員や保護者による街頭指導も定期的実施している。</p>	<p style="text-align: center;">【全課】 取組の継続実施</p>	<p style="text-align: center;">A</p> <p>交通安全や防犯対策を継続する。敬老会や文化祭等、村民の集まる機会を利用した対策事業を検討する。</p>	<p style="text-align: center;">A</p> <p>・取組はできていると思う。最近の犯罪についてクレジットカードの不正利用被害の事例がある。自分で使用履歴を確認しないと気付くことがないため、相談につながる機会がない。こういったケースの啓発も必要ではないか。</p>
	<p style="text-align: center;">全課 教育委員会</p>	<p><b>2. 防災活動の推進</b></p> <p>自主防災組織や団体等の自主的な防災活動をリード・支援し、地域防災力の向上を図ります。住民の防災意識の維持向上に努め、防災グッズや備蓄品、避難経路の確認など家族間での共有を促すよう啓発活動に取り組みます。また、異常気象時には早めの避難を呼びかけ、安心・安全な避難行動が可能となるよう関係機関との連携強化に取り組めます。</p>	<p>【福祉】 職員向けに災害時のトリアージ講習会やHUG訓練を行ったほか、各地区でも住民を対象にトリアージ及び応急手当講習会を行った。また、村内におけるAEDの設置箇所の周知もを行い、いざという時に活動できるよう素地づくりを行った。</p> <p>【総務・魚梁瀬支所】 高知県の総合防災訓練にあわせて各地区での防災訓練を行ったほか、全地区から参加者を集めHUGの体験会や浄水器のデモ、防災食の炊き出し訓練等を行った。出水時期は気象情報に注視し、早い段階で防災対策・自主避難を呼びかけた。</p> <p>【教委】 ・馬路村文化祭で防災関連のコーナーを設け、減災への取組の啓発に努めた。 ・「災害と人権」講演会では、全ての自主防災組織に声かけし、各地区総会での案内の周知を図った。参加者28人</p>	<p>【福祉】 24時間誰でも使用できるAEDを2地区に新たに設置し、地域防災力の向上につなげる。同時にAEDの使用方法をメインとした応急手当講習会を馬路村消防団と協力して実施し、より多くの住民が自主的に活動できるように取り組む。</p> <p>【魚梁瀬支所】 自主防災会や地区役員会との連携を強化し、防災訓練や避難所運営、避難行動などを行う。</p> <p>【総務課】 引き続き、気象台や消防、警察等各機関との連携強化を図り、的確な情報収集・発信に努める。</p> <p>また、自主防と連携し、防災訓練や避難所運営、講習を実施することで防災意識の維持向上に努める。</p> <p>【教委】 ・健康福祉課と連携し、誰もが過ごしやすい避難所運営に取り組む。 ・学校教育での防災訓練を継続する。</p>	<p style="text-align: center;">A</p> <p>異常気象時の対応・連携は取れている。総合防災訓練を引き続き実施するほか、村内イベントの場での防災資機材の使用や講演会実施による防災意識の啓発にも引き続き取り組んでいく。</p>	<p style="text-align: center;">A</p> <p>・コロナによる制限が明け、集まって訓練する機会づくりができてきている。引き続き多様な取組を進めていくことが必要。</p>
	<p style="text-align: center;">健康福祉課</p>	<p><b>3. 災害時避難行動要支援者対策の推進</b></p> <p>災害時避難行動要支援者名簿（個別避難行動計画含む）の見直し・更新を定期的実施します。対象者の近隣住民や民生委員・児童委員、関係機関とも情報を共有するとともに、避難訓練等を通して、いざという時にも適切な対応が可能となるよう体制整備に取り組めます。</p>	<p>【福祉】 要支援者名簿の更新を行うとともに、要配慮者利用施設避難確保計画の見直しを実施し、関係機関との連携を図った。</p>	<p>【福祉】 村内の空き家及び長期不在住宅の確認を行い、避難行動支援や救護活動に役立てる。同時に可能な限り自主防災組織と情報を共有し、いざという時にも適切な対応ができるよう体制整備に取り組む。</p>	<p style="text-align: center;">B</p> <p>作成、関係機関での共有を行っている。今後も見直しと更新を続けるほか、避難訓練等、広く活用した取組を検討する。同時に、可能な限り自主防災組織と情報を共有し、いざという時にも適切な対応ができるよう体制整備に取り組む。</p>	<p style="text-align: center;">B</p> <p>・自主防と要支援者名簿を情報共有し、訓練の際連携して動いている地区もある。有事の際に即時地区で動けるよう、作成した要支援者名簿を活用してもらいたい。</p>

馬路村地域福祉計画評価シート（令和5年度）

基本施策	担当課・関係課	取り組むこと	取組内容 (何を、どのように行ったか。その成果は (数値等の明示が可能なものについては具体的 に))	令和6年度に取り組む内容	自己評価（3段階評価） A・・・十分に組み組んでいる B・・・ほぼ組み組んでいるが改善すべき点がある C・・・取組が進んでおらず、取組を強化する必要が ある、または見直しを検討する	委員評価（3段階評価） A・・・十分に組み組んでいる B・・・ほぼ組み組んでいるが改善すべき点がある C・・・取組が進んでおらず、取組を強化する必要が ある、または見直しを検討する
<p>③多様な福祉ニーズへの対応</p>	<p>全課 教育委員会</p>	<p><b>1. 包括的な支援体制づくり</b>  行政や社会福祉協議会、診療所、中芸広域連合（地域包括支援センター）で構成する支えあいネットワーク会議を中心とした包括的な支援体制を強化し、すべての村民が生涯安心して暮らすことができるよう一体となって取り組んでいきます。</p>	<p>【福祉】 支えあいネットワーク会議を継続して実施し、不安のある行動や生活の様子について情報共有を行い必要なサービスの検討、つなぎを行っている。緊急通報装置設置による見守り体制については、機器を増台するとともに訪問事業を強化し、4件の新規設置を行った。 【魚梁瀬支所】 住民が安心・安全に暮らすことができるよう、行政や集落活動センター、社会福祉協議会、診療所、中芸広域連合、消防や駐在所などと連携し情報の共有と支援に取り組んでいる。 【教委】 あったかふれあいセンター事業参加者への声かけや、学校においては、社会福祉協議会のもと、福祉教育授業を毎年行っている。</p>	<p>【福祉】 情報共有を引き続き行い、適切なサービスに早期につなげられるよう取組を継続する。 【魚梁瀬支所】 住民の新たな課題や求められる要望にも対応できる体制づくりと、取組の強化を図る。 【教委】 福祉教育授業の継続</p>	<p style="text-align: center;">A</p> <p>支えあいネットワーク会議を活用し、情報共有と支援の取組を行っており、緊急時の対応等の情報も共有できている。担当課に関係なく、気になる様子を見かけたとき等の連携を取れるよう引き続き取り組む。</p>	<p style="text-align: center;">A</p> <p>・支えあいネットワーク会議については、気になる様子があった方について他の場所ではどんな状況なのか情報共有・今後の検討がしっかりできる場であると感じている。医師の参加もあり、見守り体制は充実していると考えます。</p>
	<p>健康福祉課 地域振興課</p>	<p><b>2. 福祉サービスの充実</b>  地域住民の新たな課題への対応や現行のサービスを充実させるためにも、地域おこし協力隊や特定地域づくり協同組合等を活用し、福祉に従事する人材の確保に努めます。また、馬路村社会福祉協議会との連携を強化し、求められる多様な要望にも柔軟に対応できるよう体制づくりにも取り組めます。</p>	<p>【福祉】 特定地域づくり協同組合からの職員派遣を受け、あったかふれあいセンター事業の充実につなげることができた。また、課内に看護師を配置したことにより、訪問を強化することができ、つなぎや生活実態把握が進んだ。 【振興課】 移住相談会やWEB求人等で特定地域づくり協同組合の魅力発信を行った。結果、R6年度から2名が特定地域づくり協働組合の従業員として福祉に関わっていく。</p>	<p>【福祉】 介護・福祉従事者の獲得・定着支援について、社会福祉協議会のみならず県・広域連合等広く連携し、サービスの維持充実に取り組む。 【振興課】 引き続き、馬路村社会福祉協議会と求人状況等について情報共有しながら、WEB等での効果的に情報発信を行い、福祉に従事する人材の確保に努める。</p>	<p style="text-align: center;">A</p> <p>健康福祉課に看護師を配置し、訪問体制を強化したことにより生活実態把握や介護予防の取組が強化されている。 また、特定地域づくり協同組合がR5年度に採用した2名が定着し、福祉サービスにも従事している。福祉事業単体では雇用が困難になっているため、今後も組合を活用しながら定着へのフォロー、また新規雇用に向けても取り組んでいく。</p>	<p style="text-align: center;">A</p> <p>・特定地域づくり協同組合からの人材派遣や福祉課への看護師配置など、体制整備、人材確保に向けた取組が進んでいる。</p>